

問1

テーマ：都市・住宅

●都市構造

MQ：JR博多駅と中心地(天神地区)が離れているのはなぜか？

問2

各テーマについて、①どのような理論を探求させるのか、解釈を追求させるのか、②それをどのような事例を使って探求、追求させるのか。

①都市の機能分化??

②JR博多駅と中心地(天神地区)が離れている

→城下町からの発展(歴史的経緯)

→街の機能分化

問3

問2の活動を支援する学習材を開発するには、どこの(市町村)、何を訪ねて(機関・施設・現象・人物など)、どのようなフィールドワークをすると効果的だろうか。現段階での見通しを示しなさい。

(市町村) 福岡市

(機関・施設・現象・人物等)

・インタビュー

→JR、西鉄(駅の立地など)、市役所：都市計画課、市民

・文献調査

→市役所：福岡市史など

・博多駅～西鉄天神(福岡)駅までを歩いてみる

・写真

問 1

題目「政治・行政の中心地としての福岡市」

福岡市が福岡県、九州地方全体の中心地として機能している現状を政治・行政機能の集中という側面から分析し、なぜ福岡市がその役割を担っているのかという問いを立てる。それを追求することで、地方中枢都市も成立条件を導きだすことを目標とする。

問 2

①福岡県には福岡市と北九州市という二つの政令指定都市がある。この二つの市の人口をみると、現在は福岡市が約140万人、北九州市が99万人と福岡市の方が多いが、昭和55年まで北九州市の人口が福岡市の人口を上回っていた。また、北九州市の方が経済規模でも上回っていたのではないかと予想した（データ入手ができていないため予想である）。では福岡市県の政治・行政の中心は、北九州ではなく福岡市に置かれるのだろうか。人口ではなく、経済規模でもなく、どのような要因で福岡市は中心となったのか。この課題について理論・解釈を追求していく。

②福岡市と北九州市との比較を事例にして、追求していくことができる考える。

問 3

5月 ・地方中枢都市の成立条件（理論・解釈）を決める。

＊九州大学関連の文献をあたってみる。

・九州の出先機関の分布

フィールドワーク

・福岡市の行政機関への訪問

具体的には福岡県庁（県議会等）、福岡高等裁判所、〇〇連合九州本部・九州支部 等

質問内容

なぜ福岡市を九州地方の拠点としたのか。

・北九州市の行政機関への訪問

参考 URL

ふくおかデータウェブ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/>

北九州市 <http://www.city.kitakyushu.jp/>

福岡市 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

地理教育プランニング実習 第2回課題

D 班

テーマ(1) 自然・環境

【問1】

テーマ 「環境にいい街って何だろう ―北九州市を事例として―」

環境首都である北九州市を取り上げ、環境に良い都市について捉えさせる。

【問2】

環境首都の認定項目として、「社会・環境・経済」の3つの要素があるとされている。

従って、この3つの要素をとらえさせ、環境に良い街づくりについて考えさせたい。

3要素の具体的な事例としては、以下のものが考えられる。

- ・ 社会：環境意識（環境教育）、住民参加、行政の支援
- ・ 環境：クリーンエネルギー
- ・ 経済：企業による環境新分野の開拓と環境に配慮した姿勢

なお、これらの事例を探求し、「環境に良い街とは」という解釈を構築させる形にしたいと考えている。

【問3】

訪問先

社会

- ・ 環境意識（環境教育） → 環境ミュージアム（北九州市）
- ・ 住民参加、行政の支援 → 北九州市役所（環境首都推進室）

環境

- ・ クリーンエネルギー → 水素スタンド、風力発電所

経済

- ・ 企業による環境新分野の開拓と環境に配慮した姿勢 → エコタウン、TOTO

フィールドワーク

聞き取り、見学、立地の調査（エコタウン）

## 【地理教育プランニング実習】

### 第3回課題

#### ■ 地理フィールドワーク グループ

B班（谷野・藤本・三好）とD班（松原・住谷・門司）

フィールドワークの日程表を提案すること。

- ① 集合場所，交通手段，宿泊，予算など
- ② 共通の訪問先へのアポ取り …… 日時を確定して，先方に趣旨等を伝えておく。  
先方に草原の依頼状が必要ならば，作成します。
- ③ 予約等はできるだけ早く取る。団体割引が使えるところは，使いたい。

#### ■ 学習材プランニング グループ

A班（江藤・野村・太田黒）とC班（大坂・福田・矢野・大庭）

開発する学習材のフォーマットを提案すること

- ① 全体の目次
- ② 4つの班のタイトルと構成 …… 原則として，各班見開き6頁を開発する。  
3人をどのように組み合わせるかが課題。
- ③ 見開きのレイアウト

※ 各分担の代表者が，5月13日（木）18時までにメール添付で資料を送ってください。

kusahara@hiroshima-u.ac.jp